

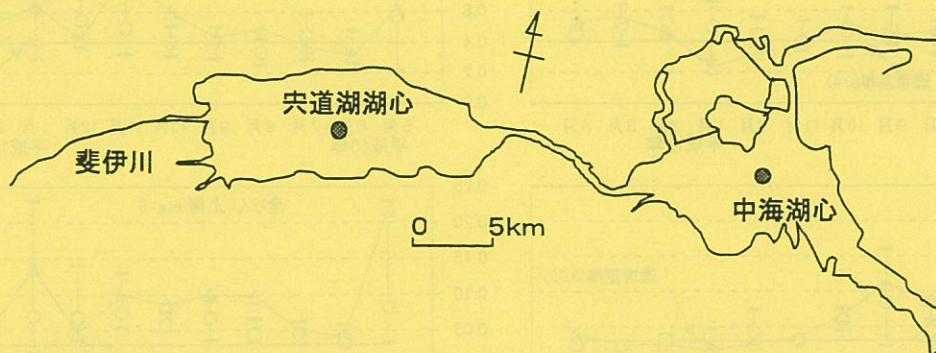
輝水だより (第 16 号)

[問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係 電話:22-5562

平成 11 年 4 月の宍道湖・中海の水質の状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

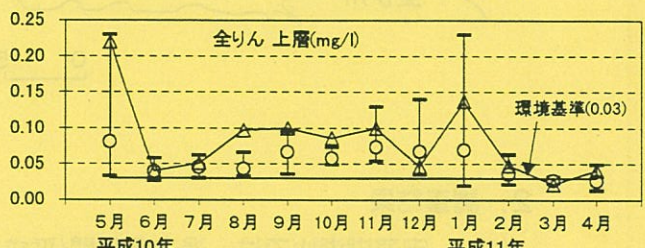
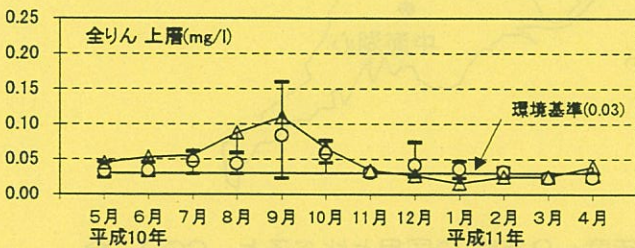
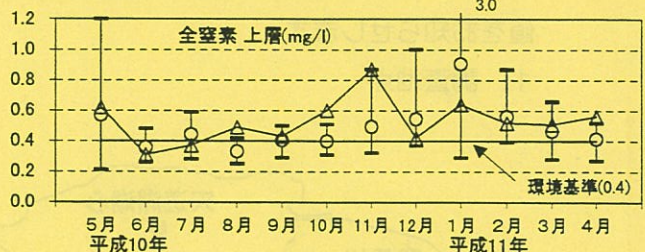
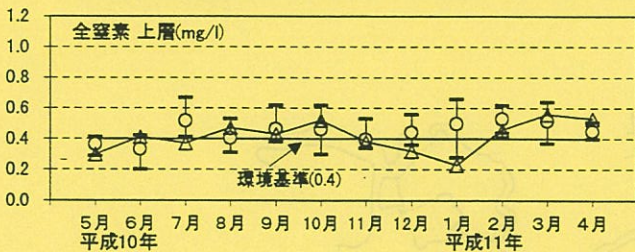
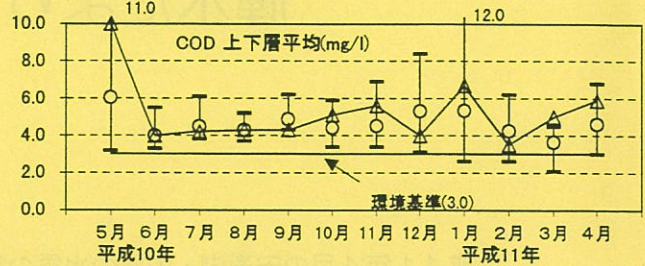
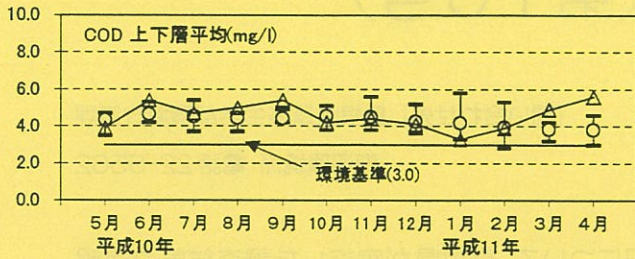
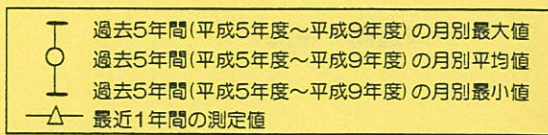
1. 調査地点



2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去 5 年間(平成 5 年度～9 年度)の同月と比べると、COD、全窒素及び全リンは最も高い値でした。宍道湖全域で植物プランクトンが多く、透明度が低い状態でした。
- (2) 中海湖心では、過去 5 年間の同月と比べると、COD 及び全リンは平均値よりも高い値を示し、全窒素は最も高い値でした。また、中海における島根県域の観測によると、安来港で赤潮が確認されました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]平成9年度平均	
			2月	3月	4月	2月	3月	4月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	°C	—	5.5	6.3	12.7	6.2	5.7	11.7	—	—
pH(上層)	—	6.5~8.5	8.5	8.1	8.4	8.6	8.6	8.8	—	—
COD(上下層平均)	mg/l	3以下	3.9	4.9	5.6	3.5	5.0	5.9	4.4	4.3
SS(上層)	mg/l	5以下	7	7	8	9	6	6	6	7
DO(上層)	mg/l	7.5以上	11	12	10	11	11	11	9.9	9.5
DO(下層)	mg/l	7.5以上	5.2	11	7.8	3.3	1.8	3.1	9.0	4.1
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.46	0.56	0.53	0.52	0.51	0.56	0.51	0.49
全リン(上層)	mg/l	0.03以下	0.025	0.025	0.039	0.048	0.022	0.041	0.050	0.052
Cl(上層)	mg/l	—	3000	2800	1800	11000	9300	6500	1200	6800
Cl(下層)	mg/l	—	3400	3100	2500	16000	14000	16000	1300	14000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	24	24	19	23	14	23	25	15



央道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

pH	水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
COD	湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
SS	水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
DO	水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
全窒素	水中の窒素の量を示します。全りんと同様にプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
全りん	水中のりんの量を示します。
クロロフィル a	植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
Cl	海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は18800mg/lです。